



今、急速なグローバル化やCSRの国際的な規格化の流れ、CSV（共有価値の創造）という概念の登場により、従来のCSR活動に加えて「攻めのCSR」が持続可能な成長に必要です。

シチズングループにとってCSRとは何か？事業活動を通じていかなる価値を社会に提供することができるのか？などを改めて考え直す時期にきています。

経営層向けCSRセミナー開催

サステナビリティ経営への変革

シチズングループでは、グローバル企業としてのCSR活動を、社会の変化に対応した新たな活動へと進化させるための取り組みを推進しています。その取り組みの第一歩として、2013年12月と2014年4月に、シチズンホールディングスを含むグループ主要事業会社5社の社長や役員を集め、「経営層向けCSRセミナー」を開催しました。

セミナーでは、CSRの有識者を外部講師として招き、急速に変化するグローバル経済下において、地球規模で起きている変化に対してシチズングループが取り組むべき活動はど

のようなことか、また本業を通して社会的課題を解決し、新たな価値を創造するCSV（Creating Shared Value＝共通価値の創造）の考え方について詳しく説明を受けました。シチズンホールディングス代表取締役社長の戸倉をはじめ、各事業会社の経営層から多くの質問が出るなど、改めてCSR活動の重要性への理解を深める貴重な機会となりました。

今後もこのような場を継続的に設け、常に社会の変化を把握し、グループ一体となったCSR活動のさらなる進化につなげていきたいと考えています。

VOICE

サステナビリティの実現に向けて

シチズングループには、非常にまじめで誠実な企業イメージを持っています。CSR活動についても環境活動や、これまでリスクマネジメントをベースとした取り組みを着実にを行い、成果を出してきました。今回のセミナーでは、これまで積み上げてきた取り組みからステージアップし、さらにグローバルな視点と、事業そのもので社会的課題を解決する、いわゆるCSVという戦略的発想の必要性を参加者の皆様にお伝えしました。

シチズングループがこれまで着実に取り組んでこられたCSR活動を、今後はさらにグローバルな視点で展開し、企業は社会とどのように関わっていくのか、社会からの期待は何かを理解し、実践していただきたいと思っています。

これらを実践する取り組みの第一歩として、「Because I am a Girl」（P19参照）といった活動も開始されています。シチズングループの今後の取り組みの進化を期待しています。



株式会社クラン
代表取締役

藪田 綾子氏